

自己評価及び外部評価票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2094000136	
法人名	株式会社 北アルプスの風	
事業所名	ほっとハウス・ほたかの家	
所在地	長野県安曇野市穂高柏原 2831-26	
自己評価作成日	令和5年3月2日	評価結果市町村受理日

※事業所の基本情報は、長野県介護サービス情報公表システムで閲覧してください(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	ps://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_pref_search_list_list=
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人しなの福祉教育総研
所在地	長野県上田市上田180-6
訪問調査日	令和5年7月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ほっとハウスの基本理念として「おひさまな暮らし」がある。私達は「おひさまのように温かいホームわがまま(自分らしく)でいい」暮らしの実現を目指している。私たち職員は挨拶や声掛けから始まるケア技術・知識・心の質の向上のために、日夜研鑽を惜しまない。また、利用者様のP・Praid(プライド)Puraive-to(プライベート)Personality(パーソナリティ)に配慮し、施設側や職員のペース優先ではなく、利用者様本位の介護を心掛けている。私達は、笑顔が絶えない真心が通い合う日々と、ご家族や地域と繋がっていきけるホームを築いていくために、ほたかの家で一緒に暮らしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

株式会社北アルプスの風が運営するグループホーム。法人グループには、株式会社・社会福祉法人・NPO法人とがあり、県内安曇野市を中心に複数の障がい者サービス、高齢者サービス等を展開。それぞれ入所、通所、訪問といった様々なニーズに合わせた福祉サービスを運営している。事業所内で行われる研修の他、法人全体でも研修が計画、実施されており、法人をあげて教育、人材育成に力を入れて取り組まれている。ほたかの家では、長野県社会福祉協議会が主催する介護技術のコンテストに毎年職員が積極的にエントリーし、昨年度は最優秀賞の県知事賞を受賞するなど多くの優秀な人材がある。排泄支援等にも力を入れ、一人ひとりの排泄リズムを把握し、失禁せず出来るだけトイレで排泄できるように支援され、パットの使用量を減らしたり、紙パンツから布パンツに移行できた利用者もいる。コロナ禍でも工夫して外出を継続するなどの取り組みを行い、利用者アンケートでも満足度の高い施設である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します。ユニットが複数ある場合は、ユニットごとに作成してください。

ユニット名(れんげ)		項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんど揃っていない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている。 (11, 12)	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30, 31)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない				

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

ユニット名(すみれ)			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	66	職員は、生き活きと働けている。 (11, 12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		